

## 県民の日イベントを終えて

野村 浩

「埼玉県民の日」は、明治4年11月14日(旧暦) 廃藩置県により「埼玉県」が誕生し、それから、100年目にあたる昭和46年に制定されました。県民の日を中心としたこの時期は、県内の様々な施設で特別なイベント等を実施しております。自然の博物館でも当日は、入館料を無料とし、常設展・特別展の観覧に加え、毎年イベントを実施してご来館いただく皆様楽しんでいただいております。お陰様でこの日の入館者数もH28年度が2,337人、H29年度は、3,007人と毎日の入館者統計が残る平成20年度以降では、最高を記録・更新しました。

今年度は、ご好評いただいている「博物館クイズ」の県民の日バージョンを新たに作成し、お子様はもとより大人の方にもチャレンジしていただきました。また、顕微鏡観察や植物・昆虫標本展示、自然の博物館オリジナルキャラクターや埼玉県の鳥・チョウ等の色塗りコーナー、屋外では、石を割って化石発掘を体験するコーナーをそれぞれ設け、来館者の方に参加いただく事を意識して実施しました。また、展示関係では、ボランティア解説員に館内展示解説を、自然の博物館友の会には、ミニショップを開設していただき、いつもの博物館とは少し違ったお祭りのような雰囲気を感じていただけたのではないかと思います。

これら県民の日イベントのうち、特に化石発掘体験には、多くの皆さんが高い関心を示されました。

ただし、このイベントの事前準備には県土整備事務所への届出等の事務作業の他に体力も必要です。具体的には、石の採集場所である河川敷で地質担当学芸員が化石の入っていきそうな石を30～40個選定し、それらを人力で何往復もして車へ運び込むのですが、足元の不安定な川原を重い石を持って歩く作業は、11月でも汗が流れる程の運動量となります。

参加者の皆さんからは、この化石発掘体験を年間のレギュラーメニューとして複数回実施してほしいとの声もいただいております。博物館といたしましても、なるべく多くの機会を設けて皆様に体験していただきたいのですが、前述のとおり事前準備が大変である事以外にも体験の際には、化石の同定が出来る学芸員及びボランティアスタッフが複数人必要となり、その都度人数を確保する事は難しい状況です。

また、化石は無限に存在する訳ではなく、稀少なものであるという事もご理解願えればと思います。このような事から当館では、原則県民の日等、特別な日の限定イベントとして実施したいと考えております。

今後ともご来館いただく皆様が、「楽しかった。」「また来館したい。」とっていただけるような展示やイベントを企画してまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(のむら ひろし・担当課長)



体験用に集めた石



化石発掘体験風景